

# 沖縄県水産海洋研究センターニュース(第16号)

2009年(平成21年)6月発行

本所 〒901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号  
TEL: 098-994-3593 FAX: 098-994-8703  
石垣支所 〒907-0453 沖縄県石垣市字川平828番2号  
TEL: 0980-88-2255 FAX: 0980-88-2114  
ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>

就任挨拶 所長: 島田 和彦

平成21年4月に、上原前所長の後任として就任致しました島田和彦と申します。3月までは水産課において、漁業者等の皆様に最も関わりの深い漁業権や取締等を担当しておりましたので、ご記憶にある方もいらっしゃると思いますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

当水産海洋研究センター(以下、「水研センター」と呼びます。)は、これまで沿岸漁業や養殖業等の振興ため、関係各位の御協力を賜り、マチ類等の資源管理の指導、漁海況情報の提供、モズク等の養殖技術の開発、シャコガイ等の種苗生産、各種魚病対策、ソデイカ加工技術の開発等に鋭意取り組んでまいりました。

しかし、本県の水産を取り巻く環境は、無秩序な漁獲に伴う資源の減少、埋め立て等開発に伴う浅海域の減少や汚染、輸入水産物の増大に伴う魚価の低迷、燃油の高騰に伴う経費の増大、米軍等の演習に伴う広大な制限水域等の存在、漁業以外の海域利用との軋轢増大等々、依然として大変厳しいものがあります。そのような状況の中、試験研究等に対するニーズも多様化しており、またその対応の迅速化が求められております。

そのため、平成21年3月に今後の試験研究等の活動指針となる「沖縄県水産海洋研究センター試験研究推進構想(平成21～30年度)」を策定し、本年度から当該構想に基づき、事業を実施しているところであります(右記試験研究等一覧をご覧ください)。

また、当水研センターは、皆様ご存じのように、県の施設としては最も古い施設の一つであり、老朽化が著しく、その改善が長年の懸案でありました。幸い今回、新たな推進構想を策定したことに伴い、当センターの施設整備等に取り組む絶好のチャンスでもあると認識しております。

そのため、私の当面の課題と致しましては、施設整備等に関し、主管課である企画部科学技術振興課や財政担当課等の強力な支援を受け、早急に取り組む事であり、また漁業者等の皆様からのご要望に対し、出来る限り早急な成果が出せるよう各研究員を叱咤激励することであると考えております。

本県の素晴らしい海とそこに育まれる水産物を末永く持続的に利活用し、本県水産業並びに関連産業の発展に貢献するため、水産業改良普及センター等の関係機関と密に連携し、職員一丸となって、日々努めていく所存でありますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、漁業者等の皆様の現状や御要望等につきまして、私も職員と共に各現場に参り、直接お話を伺いたいと思うのですが、なかなか厳しい状況もありますので、ご相談やクレーム等がございましたら、御遠慮無く別記電話若しくは下記メールアドレスまで御連絡頂ければ幸いです。また、近くにお越しの際は、何もございませんが、お気軽にお立ち寄り下さい。

最後に、海人の皆様や水産等関係者の皆様のご健康とご発展を祈念しまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

E-mail: [shima\\_04@pref.okinawa.lg.jp](mailto:shima_04@pref.okinawa.lg.jp) (「shima」の後の線は、アンダーバーですので、お間違えなく)

## 平成21年度試験研究等一覧(実施年度)

### 1. 海洋資源関係

- ① マチ類の資源評価・資源回復調査 (平成21～25年度)
- ② 生物情報収集調査 (平成12年度～)
- ③ 資源管理型漁業推進調査 (平成15～年度)
- ④ 八重山海域資源管理型漁業推進調査 (平成18～22年度)
- ⑤ シロクラベラの分布生態及び資源加入過程の研究 (平成18～22年度)
- ⑥ 日本周辺高度回遊性魚類資源対策調査 (平成13年度～)
- ⑦ 放流技術開発事業(シラヒゲウニ) (平成17～21年度)
- ⑧ 特定海域海産生物放射能測定調査 (昭和47年度～)
- ⑨ 沖合海域海洋観測調査 (平成12年度～)
- ⑩ 海洋動態解析事業 (平成14年度～)
- ⑪ 漁場探索支援事業 (平成17年度～)
- ⑫ マグロ類回遊行動生態調査 (平成11年度～)
- ⑬ ソデイカ漁業の漁具漁法改良試験 (平成20～22年度)
- ⑭ 漁獲情報収集管理事業 (平成7年度～)
- ⑮ 漁業管理対策事業 (平成9年度～)
- ⑯ 新漁業管理制度推進情報提供事業 (平成9年度～)



漁業調査船 図南丸

### 2. 養殖関係

- ① モズク類養殖技術改良試験 (平成18～22年度)
- ② ヒトエグサ中性胞子を用いた養殖試験 (平成19～23年度)
- ③ クビレオゴノリ養殖技術開発 (平成19～23年度)
- ④ マリンバイオ産業創出事業(海藻養殖技術開発) (平成20～22年度)
- ⑤ ヒメジャコのケージ式養殖技術実用化試験 (平成19～21年度)
- ⑥ ナマコ類の養殖基礎試験 (平成20～22年度)
- ⑦ ハタ類の新規養殖適種選定試験 (平成19～21年度)
- ⑧ 安全・安心な養殖生産体制整備事業 (平成19～21年度)
- ⑨ シラナミの種苗量産技術開発 (平成19～21年度)
- ⑩ 大型ハタ類の性転換・性成熟研究 (平成17～21年度)
- ⑪ 養殖魚介類の魚病対策試験 (平成18～22年度)
- ⑫ 新養殖管理技術開発試験 (平成17～21年度)
- ⑬ シャコガイ生産事業 (平成3年度～)
- ⑭ ヤイトハタ生産事業 (平成15年度～22年度)
- ⑮ 養殖水産動物保健対策推進事業 (平成12年度～)



クビレオゴノリ

### 3. 加工関係

- ① ソデイカのすり身に関する研究 (平成19～21年度)
- ② マリンバイオ産業創出事業(クビレヅタ加工技術開発) (平成20～22年度)

